



消費税減税とインボイス廃止を求めデモ行進する人たち。左から2人目は小池晃書記局長＝24日、東京都新宿区

減税なら消費税 各界連テモ

強行成立35年

消費税法が強行成立されて35年となる24日、消費税廃止各界連絡会は東京・新宿で「減税するなら消費税、インボイス（適格請求書）は今すぐ廃止！」と訴えてデモ行進しました。

参加者は、付加価値税（消費税）減税10.8カ国・地域の国旗入りボードを持ち「免税業者の営業守れ」「消費税下げて暮らしを守れ」とコール。沿道の若者が合

いの手を入れたりスマホで写真を撮ったりしていました。

デモに先立つ宣伝・署名行動ではフリーランス、農家、一人親方、税理士らが訴え。インボイス制度を考え、フリーランスの会の小泉

なつみさんは「生産性のない事務負担と増税を押し付けながら、自分たちの金の出入りすら、ろくに記載できない与党政治家は醜態。インボイスへの怒りを声にしよう」と呼びかけました。

日本共産党の小池晃書記局長、宮本徹衆院議員が訴え。小池氏は「消費税が始まってから、暮らしも社会保障もどんどん悪くなっていく。消費税はただちに減税し、廃止をめざそう」と強調しました。

参加した千葉県の会社員（48）は「身内にフリーランスがいて、調べるとインボイスや消費税が生活を脅かすことに気付きました。インボイスをなくし、消費税を引き下げてほしい」と語るりました。